

温 泉 成 分 表

1. 申請者 能美市長 酒井 悅次郎

2. 源泉名及び湧出地 新辰口温泉(11号源泉) 石川県能美市辰口町3番地1

3. 湧出地における調査及び試験成績

(1)調査及び試験者	財団法人 北陸保健衛生研究所 坂本 陽平
(2)調査及び試験年月日	2011年2月2日
(3)泉 温	36.5°C (気温26.4°C)
(4)湧 出 量	210ℓ/min(動力)
(5)知 覚 的 試 験	茶褐色混湯、弱塩味、硫化水素臭
(6)ph 値	7.5 (ガラス電極法)

5. 試料1kg中の成分、分量及び組成

(1)陽イオン

成 分	ミルグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ナトリウムイオン(Na ⁺)	1,055.0	45.89	81.16
カリウムイオン(K ⁺)	23.7	0.61	1.08
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	14.0	1.15	2.03
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	173.7	8.67	15.33
他	4.6	0.23	0.4
陽イオン計	1,271	56.55	100.00

(2)陰イオン

成 分	ミルグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
塩 素 イ オ ン (Cl ⁻)	961	27.11	45.85
水 硫 イ オ ン (HS ⁻)	1.5	0.06	0.08
硫 酸 イ オ ン (SO ₄ ²⁻)	1,363	28.38	48.00
ヒドロ炭酸イオン(HCO ₃ ⁻)	217	3.56	6.02
他	0.5	0.03	0.01
陰イオン計	2,543	59.13	100.00

※温泉についての補足説明

まつさきの源泉は庭園内の松泉湖の横の地下800mより湧き出ております。泉温が36.5°Cとやや低いため、掛け流しと併用してボイラーにて循環加温を行っております。また、衛生管理のため循環濾過と一部殺菌処理も行っております。成分は源泉100%です。

4. 試験室における試験成績

(1)調査及び試験者	財団法人 北陸保健衛生研究所 小島 公子
(2)分析終了年月日	2011年3月4日
(3)知覚的試験	黒色沈殿物有り、茶褐色澄明弱塩味、硫化水素臭
(4)密度	1.0014 (20°C)
(5)pH 値	7.96 (ガラス電極法)
(6)蒸発残留物	3.833g/kg(130°C)

6. 泉質 含硫黄—ナトリウム—硫酸塩・塩化物泉(弱アルカリ性低張性温泉)

7. 禁忌症及び適応症

温泉の医治効用は、その温度その他の物理的因素、化学的成分、温泉地の地勢、気候、利用者の生活状態の変化、その他諸般の総合作用に対する生体反応によるもので、温泉の成分のみによって、温泉の効能を確定することは困難であるが、この温泉の浴用及び飲用の禁忌症及び適応症は、おおむね次のとおりである。

1) 浴用の禁忌症

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに、初期と末期)、高齢者の皮膚乾燥症

2) 浴用の適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、動脈硬化症、糖尿病、高血圧症

8. 浴用上の注意

温泉には老化現象が認められ、地中から湧出した直後の新鮮な温泉が最も効果があるといわれているが、それぞれの温質に適する用い方をしなければかえって疾病に不利に働く場合がある。したがって浴用にあたっては、おおむね次の注意に留意し源泉について十分な公衆衛生上の配慮を行うこと。

1) 浴用上の注意

- ア、温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度としその後は1日当たり2回ないし3回までとする。
- イ、温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とする。
- ウ、温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわり又は浴湯反応)が現れることがある。「湯あたり」の間は入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。